

令和6年度

飯南町功労者 表彰

おめでとうございます

本町の発展に貢献された個人・団体の
皆様を表彰しました



加藤 博樹さん
(地域貢献功労)

飯南高校の魅力向上のため設置された「飯南高校キラリ!ドリームアップ推進協議会」とその後継の協議会の会長を11年間務められました。人脈や知識経験をもとに、飯南高校の魅力化と生徒確保に大きく貢献されました。



澤田 秀樹さん
(消防功労)

昭和49年8月の消防団入団以来、約50年の永きに渡り消防活動に徹し、団長として8年間、卓越した指導力と統率力のもとに消防体制の整備・拡充に取り組まれました。新入団員、機能別団員や女性団員の勧誘に努めるなど、消防団の発展に大きく貢献されました。



飯南町猟友会
(農林業功労)

平成17年4月に発足以降、有害鳥獣に対する高い知識と技術を駆使し、20年に渡り農林業被害防止に大きく貢献されました。ツキノワグマ出没時など危険な現場では最前線に立ち、町民の安全と安心に大きく貢献されました。



野見宿禰赤名
相撲甚句会
(社会教育功労)

平成23年2月に発足以降、町内の福祉施設への慰問、東京・大阪・広島の県人会への出演や全国相撲甚句大会への出演など80回以上の公演を行いました。平成30年には、第11回全国相撲甚句大会を本町に誘致するなど、地域振興に大きく貢献されました。



特定非営利活動法人
あかぎ福祉会
(民生功労)

平成15年12月に法人化されて以降、居宅で生活することが困難な高齢者に対して、認知症対応型共同生活支援や在宅の虚弱高齢者等の通所による在宅支援サービスを行い、介護福祉事業へ大きく貢献されました。



キュージーン
(文化功労)

平成13年9月に創設され、これまで「雲南合唱フェスティバル」「来島文化祭」などのイベントに出演され、全員の気持ちが一つに集まり奏でるハーモニーの素晴らしさを感じさせると共に、福祉施設訪問なども行い、本町の芸術文化向上に大きく貢献されました。



飯南牡丹組
(商工業功労)

平成23年6月に商工会女性部を中心に結成され、ばたん祭などの町内イベントの他、町外へのイベントにも積極的に参加され、女性が輝く社会づくりを体現されると共に、高齢者福祉施設への慰問などにも熱心に取り組む、地域振興にも大きく貢献されました。



大学生の視点で地域の将来を考える 飯南ラボフォーラム

島根大学飯南ラボが主催する「第7回飯南ラボフォーラム」が開催されました。

島根大学の作野教授と学生6人が、6月と10月に実施した小田真木地区でのフィールドワークをもとに研究・調査結果を発表。学生からの今後のまちづくりへのアイデアを聞くだけでなく、参加者も学生と今後のまちづくりについて考えました。



飯南町出身の本間さん(2年生)も発表されました

3.8
±



次世代のリーダーから学ぶ福祉のまちづくり 高橋椿太郎さん講演会

小地域福祉活動を進める23地区の代表を対象にした講演会が、飯南町社会福祉協議会の主催で開催されました。

登壇したのは、コミュニケーションデザイン代表の高橋椿太郎さん。言語障害や半盲といった自身の経験をもとに、現在は鳥取大学で学びながら地域の居場所づくり活動に取り組んでいます。当日は高校生を含む38人が参加し、福祉について考えるきっかけとなりました。

高橋さんは「お互いを知ることの良い出会いになる。福祉や社会教育の分野にもつながります」と話していました。



自分のことを教え合う「名刺交換会」で参加者の話を聞く高橋さん(左奥)

3.7
金



志津見湖の魅力が伝わる写真を 志津見湖フォトコンテスト

東三瓶フラワリーブイベント実行委員会主催の「第13回志津見湖フォトコンテスト」の審査会が開催され、62点の応募の中から、最優秀賞1点、部門賞3点、入選15点が選ばれました。

志津見ダムや東三瓶フラワリーブレー周辺を写した応募作品は、6月のポピー祭で展示し、入賞者の表彰を行う予定です。入賞作品は町ホームページに掲載しています。



【最優秀賞】「錦秋」藤江松男



【人物・イベント部門賞】「なかよし」後藤孝司



【ファミリー部門賞】「笑顔満開」上田和夫



【風景部門賞】「秋の空と秋桜」勝部博行



町ホームページ